



彩の国ジュニアゴルフ選手権大会で 2連覇を達成

平野誠一さん(佐間・14歳)

今月は、昨年12月26日にさいたま市で開催された第15回彩の国ジュニアゴルフ大会(埼玉県ゴルフ練習場連盟主催)に出場し、中学生男子の部で2年連続優勝を果たした平野誠一さんを紹介します。

平野さんがゴルフと出会ったのは小学2年生の時。父の知人からもらったジュニア用クラブを手にして、祖父や伯父と一緒に練習場やコースに行ったことがきっかけで、ゴルフの楽しさを知りました。そして、熱心にゴルフに打ち込んでいたクラスメイトに影響を受け、小学5年生の時に本格的に練習を始めました。現在は、坂戸市にあるスクールに通い、週1回レッスンを受け、週5日熊谷市にある練習場で、スクールのコーチから教わった内容を確認しながら腕を磨いているとのこと。各地で行われる大会などに参加するようになってからは、全国に友達ができ、つながっていくのが楽しいそうです。父



の壽男さんは「出場する大会には大人と一緒にプレーするものもあり、その中でマナーや考え方を学ぶことができていますよ」とゴルフを通じて人間的にも着実に成長している平野さんの姿に目を細めます。

中学1年生の時に優勝した第14回彩の国ジュニアゴルフ大会以降、思うようなプレーが出来ず不本意な結果が続いたという平野さんですが、思い入れのあるこの大会で絶対に連覇をしたいという強い気持ちを抱いて臨み、2位に3打差をつけ見事優勝。「競技中は緊張せず力まぎにプレーすることができ、ミスをしてもしりかばりができた」と勝因を振り返ります。

そうした中、この優勝をとっても喜び、平野さんの一番のファンであった最愛の祖母が1月に突然亡くなりました。平野さんは「いつも応援してくれていた祖母、練習や大会の時に送迎をしてくれる両親、そして、食べるとスコアが2打縮む、メンチカツを作ってくれる精肉店を営む祖父と伯父に支えられていることを改めて感じました」と感謝の気持ちを口にします。これからの目標や夢について「まずは今年8月の日本ジュニアゴルフ選手権に出場すること。そのための県予選と関東予選を絶対に勝ち抜きたいと思います。そして、もっと上手な選手と交流したい、いつか国内でも世界でも試合に勝てるプロゴルファーになることです」と語る平野さんの表情からは、揺るぎない決意が感じられました。

はじめまして



平成30年5月生まれのお子さんを募集します

○3月1日(金)～29日(金)に電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当(内線322)
※応募要領は市ホームページをご覧ください。
○応募者多数の場合は、4月2日(火)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



★★★ 平成30年3月生まれのおともだち ★★★



小濱 邑和ちゃん(長野)
平成30年3月26日生まれ
父・大和さん 母・枝理さん
「大きくなりました!」



鈴木 陽介ちゃん(若小玉)
平成30年3月18日生まれ
父・康弘さん 母・祐子さん
「いつも笑顔がありがとう! 大好きだよ!」



原 心春ちゃん(持田)
平成30年3月23日生まれ
父・和也さん 母・智江さん
「元氣と笑顔がありがとう!」



吉野 福人ちゃん(長野)
平成30年3月21日生まれ
父・正一さん 母・留美子さん
「元氣いっぱい☆育ててね!!」



吉田 遼人ちゃん(北河原)
平成30年3月2日生まれ
父・司さん 母・絵里加さん
「お兄ちゃん大好き!」



荒木 綱斗ちゃん(持田)
平成30年3月9日生まれ
父・清孝さん 母・由加理さん
「我が家の癒し系!」

ぎょうだの会社を クロスアップ!!

株式会社広田紙工

紙の可能性を形作る企業として60年



会社プロフィール

代表取締役社長 大塚 貴代
【事業内容】美装化粧箱・段ボールケース・冠婚葬祭向けギフトケースなどの包装資材(紙製)の企画、デザイン、製作
【所在地】緑町8-14

株式会社広田紙工は本市の特産品である足袋用の箱製造をきっかけに創業し、これまで多種多様な紙器・紙工品を作り続け、今年、設立60周年を迎えました。

同社はギフト用をはじめとした食品を入れる美装化粧箱から自動車部品の工業製品向け個装箱などを製造し、あらゆる業界に製品を提供しています。約500社の顧客のさまざまな要望に対応するため、用途に応じて材質から形状までのサンプルを作成する提案型営業を行っています。そして注文を受ける短時間で納品するため、確かな技術力と丁寧な仕事によって出来上がった製品を自社便を使い納品しています。「当社の製品には当社の名前が書かれていませんが、おそらく皆さんの生活のどこかで当社の製品を一度は手にしていただいているかと思えます。これからも包装のスペシャリストとして全国各地の皆さんのお役に立てるように日々研究を重ねていきます」と代表取締役社長の大塚貴代さんは

こやかに話してくれました。

こうした中、同社では包装品の他に、軽くて扱いやすい紙の特性を生かし、繰り返し使用できるオリジナルの紙製品を開発。簡単に組み立てられコンパクトに収納できる屏風や飾り棚などの仏具関連商品が好評を得ています。また同社では家事、育児、介護などに忙しい女性が働きやすい職場づくりに努めており、社員45人のうち約半数の女性が大型機械を扱う製造部門などで長年活躍しています。さらに環境に配慮した取り組みとして、日々発生する大量の紙片も工場内にある専用プレス機で成形し古紙として再利用するなど、大塚社長のきめ細やかな経営姿勢があらゆる場面からうかがえます。

平成29年には国の機関である関東経済産業局に経営力向上計画が認定され、平成30年には県から経営革新計画が承認された同社。これからも無限に広がる紙の可能性を形作る企業として飛躍が期待されます。

私の作品

◎皆さんの作品を募集しています。
◎俳句は毎月5日までに、はがき・封書で
広報広聴課へご応募ください。

- | | | | |
|-----------------|---------------|------------------|-----------------|
| 俳句 | 城西 榎原しずか | 春近し免許返納足丈夫 | 渡柳 川田 静江 |
| 大寒や蒼天を研ぐ風の音 | 持田 園部 貞雄 | 鈴の音や巫女おごそかに屠蘇を注ぐ | 米寿とてまだこれからと硯汁 |
| 上州の風を従へ白鳥来 | 高田みつ子 | 城南 橋本千枝子 | 荒木 高澤よね子 |
| 湯に浮かぶ孫のほつぺと冬りんご | 鈴木かつの | 三尺の窓に腹見せ冬の蜂 | 秩父路や風はひとしく春の色 |
| 持田 萩原 義久 | 秩父路や風はひとしく春の色 | 荒木 手島 一海 | 新時代幕開けとなる初暦 |
| 持田 小倉 繁三 | 薄水の水底に立つ泥けむり | 下忍 荒井 王子 | コンビニのコーヒーも添え鉄始め |
| 富士見町 江利川敏夫 | 福豆を年令の半分喰べ残し | 富士見町 鈴木スイ子 | 探梅や一揆の里の獣道 |
| 同窓の半数鬼籍春寒し | 須加 天沼 広吉 | 同窓の半数鬼籍春寒し | (三沢 一水 監修) |
| 空つ風空掃くごとく大げやき | 佐間 須永 節子 | 名匠の玉杯に酔う雪見酒 | 病院のママに届けと千羽鶴 |
| 藤原町 斎藤雄次郎 | 天空の背骨のごとし冬銀河 | 西新町 青木 泰山 | いきいきと百寿超えたる賀状かな |

※このコーナーで紹介する会社を募集しています。
特色ある業務を行っている会社の情報を広報広聴課広報広聴担当(内線318)までお寄せください。